

授業科目名	共生ビジネス創成論	単位数	2
担当教員名	石田 秀輝	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。			
授業の到達目標及びテーマ テーマ：バックキャスト思考 目標：バックキャスト思考が理解でき、応用するための具体的なアプローチが提案できる。			
授業の概要 フォーキャスト、バックキャスト思考の相違を理解し、それを具体的に応用した例を学び、実際にアプローチを試みる。			
<p>授業計画</p> <p>第1回：バックキャスト思考とフォーキャスト思考</p> <p>第2回：バックキャスト思考の基礎 I 原理</p> <p>第3回：バックキャスト思考の基礎 II 制約とシンプルクエスチョン</p> <p>第4回：バックキャスト思考の基礎 III 解の抽出</p> <p>第5回：バックキャスト思考の実践 I 4つの落とし穴</p> <p>第6回：バックキャスト思考の実践 II 実践実習</p> <p>第7回：エコジレンマとライフスタイル</p> <p>第8回：心豊かな暮らし方のかたちを考える I 44の生活原理</p> <p>第9回：心豊かな暮らし方のかたちを考える II 「間」を埋めるということ</p> <p>第10回：予兆が示す文化トレンド</p> <p>第11回：ネイチャーテクノロジー I 自然と持続可能な社会</p> <p>第12回：ネイチャーテクノロジー II 新しいテクノロジー創出</p> <p>第13回：地域の未来を考える I アプローチの原理</p> <p>第14回：地域の未来を考える II 兵庫県豊岡市、鹿児島県沖永良部島</p> <p>第15回：総括</p> <p>定期試験</p>			
スクーリングでの学修内容 全15回のポイントを1日のスクーリングで整理するとともに、特に4-6回で予定している、「バックキャスト思考の実践」部分をディベートを通して深く理解する。			
教科書 (1) 石田秀輝 古川柳蔵 (2020) 『バックキャスト思考で行こう!』ワニブックス			
参考文献 特になし			

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。